

高齢者疑似体験(6年生)



「福祉」について学習を進めている6年生が、「高齢者疑似体験」を昨日と今日の2日間で体験しました。昨日、今日の2日間、瑞穂市の社会福祉協議会の方々をお招きして、普段、高齢者の方々がどんな困り感をもって生活しているのかをいろいろな装具を身に付けて体験しました。

歩きにくさや細かい作業のしづらさを体験する中で、今後、知り合いの高齢者の方や町で見かけた高齢者の方が困っていたら、どう声をかけたり、どう手助けをしたりするとよいかを学びました。

視野が限定されたり、動きが制限されたりして、思うように動けないことを体験してみて、6年生の児童たちは高齢者の方々が感じてみえる困り感を、少しでも感じる事ができたようです。